



令和元年度 第2回 大気環境学会理事会



令和元年9月17日



公益社団法人 大気環境学会



## 令和元年度 公益社団法人大気環境学会 第2回理事会議事録

日時：令和元年9月17日（火）16:00～17:00

会場：東京農工大学府中キャンパス農学部本館第二会議室

出席者：大原利眞会長、伊豆田猛、近藤明各副会長、中井里史、新田裕史、速水洋、松田和秀、大泉毅、米持真一各常任理事、村尾直人、渡邊明、長田和雄、皆巳幸也、竹中規訓、島正之、樋口隆哉、藤原誠、田中昭代各理事、野口泉、平木隆年各監事

欠席者：鵜野伊津志、高見昭憲各理事

本理事会の資格要件：理事定数20名であり、本日の出席理事数18名、これは定款に定める理事会成立要件である理事定数の1/2（10名）を超えており本理事会は成立する。

### 1. 議題（審議事項）

#### 1.1. 平成30年度事業報告について

平成30年度事業報告が説明され、原案の通り承認された。

#### 1.2. 平成30年度収支決算について

平成30年度収支決算報告が説明され、原案の通り承認された。

#### 1.3. 平成30年度監査報告について

平成30年度監査報告が説明され、原案の通り承認された。野口泉監事より、学会の会計状況及び活動状況について以下の要望事項が説明された。

平成29年度単年度収支は1,434,882円の赤字決算となっていたが、平成30年度は2,247,574円の黒字決算となっており、なおかつ正味財産期末残高が2,927,702円と、財政状況が改善傾向にあり、学会運営に関する努力を評価する。

しかしながら、今期黒字の大きな要因が寄付等の雑収入5,294,627円であることから、依然として健全な財政状況といい難い状況である。

今年度より事務局機能の外部委託等の運営体制の見直しが行われるので、経費の削減が期待できるが、学会運営の根幹をなす会費収入や事業収入の増加を図る努力を強く要望する。

さらに、本年度新たに頂いた寄付金および過去から保有している基金の有効活用について理事会で議論をお願いするとともに、その結果に関して会員に徹底した周知をお願いする。

これに対し議論した結果、理事会として組織的な取り組みを検討することとした。

#### 1.4. 編集業務委託契約について

既に事務局業務を委託している(株)国際文献社との編集業務に関する委託契約書（案）が提出され、原案通り契約を締結することとした。なお、本契約は令和元年10月1日から令和2年6月30日とし、契約期間の3カ月前までに解約の意思表示をしない限り、自動的に契約を1年ごとに

更新するものとした。

1.5. 大気環境学会各種業務について

事務局業務委託後の総務関係業務の実施方法について、総務担当理事から提案があり、引き続き検討を進めることとした。

1.6. 入退会希望者等の承認について

正会員 10 名、学生会員 15 名の入会が承認された。また、正会員 5 名、法人会員 A 1 名の退会が報告された。

1.7. 第 60 回年会の開催準備について

第 60 回年会の開催について、伊豆田猛理事から説明があり、順調に準備が進められていることが報告された。

1.8. 第 61 回年会の開催計画について

皆巳幸也理事から、第 61 回年会を令和 2 年 9 月 16 日～18 日に長野県松本市のキッセイ文化ホール（長野県松本市水汲 69-2）を主会場、年会長を信州大学教授の野見山哲生会員として開催する予定であることが報告され、了承された。

1.9. 第 62 回年会の開催計画について

大原会長から、第 62 回年会を関東支部の担当で、令和 3 年 9 月に開催する計画を進めていることが報告され、了承された。

2. 議題（報告事項）

各常任理事から、それぞれの担当業務について報告があり、了承された。

以上の通り、定款第 33 条の規定により議事録を作成する。

令和元年 9 月 17 日

会 長

大原 利眞



監 事

野口 泉



監 事

平木 隆年

